

飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校 中学部通信



令和 7 年 7 月 3 日 (木)
第 7 号



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校
中学部・校長 秦 俊 明



一日校外研修

6月30日(月)、9年生は一日校外研修を行いました。保護者は、7名参加していただきました。朝8時半に学校を出発して、午前中は、総合的な学習の時間で「筑豊地区の企業が抱える課題を解決することを通して、自己の生き方や身近な社会のかかわり方について考える。」活動の一つで、学級ごとに企業を訪問しました。

1組 アイテックシステム株式会社(飯塚市横田)見学 2組 一番食品株式会社(飯塚市伊川)見学
3組 フジキ印刷株式会社(飯塚市伊岐須)見学
学級ごとに共通課題があります。

1組の共通課題は、「人材不足の中で働きがいがある会社にするためにどうしたらいいか」です。
2組の共通課題は、「採用(応募)を増やすためにはどうしたらいいか」です。
3組の共通課題は、「新しく変わった新社名、業務内容をより多くの方々に知っていただくにはどうしたらいいか。」です。

※ この活動は、読売新聞7月1日(火)筑豊版に掲載されました。(裏面)

午後は、スペース LABO(北九州市博物館)に行き、プラネタリウム体験や展示等見学を行いました。「スペース LABO」は、国内最大級のプラネタリウムや大型竜巻発生装置などを備えた、体験・体感型の科学館です。最新の科学技術を使った展示や実験を通じて、科学の面白さを体感できました。



総合的な学習の時間(グローバルタイム)においては、探究学習の4つのプロセス(「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」)を行います。また、総合的な学習の時間の前後に、関連のある教科、学級活動や道徳科等を教科等横断的に行います。

一日校外研修を終えて

- 実際に企業をみて課題解決に向けてイメージができました。働いている人がやりがいを持って仕事をしているのがわかりました。(1組)
- スペース LABO では、はじめてみたことや知ったことがたくさんありました。科学について興味がわきました。また、プラネタリウムを体験できて良かったです。(1組)
- 一番食品さんはたくさんの工夫をしていることがわかりました。今後もっとよくするためのアイデアを考えていきます。(2組)
- フジキ印刷さんは、疑問に思っていたことを丁寧に答えていただき解決の参考になりました。(3組)
- スペース LABO では、天体や科学を五感で感じられて楽しかったです。星座や科学に興味を持てました。(3組)



オンライン英会話

昨年度と同じく中学校もオンライン英会話があります。7, 8年は8回、9年生は6回あります。マンツーマンでネイティブの人と話をします。生徒は、一生懸命相手とやりとりをして楽しそうでした。

7, 8年総合的な学習の時間

7年生は、自分の「よさ」や「適性」を調べ、将来の自分をイメージした「**ヴィジョンボード**」を作成しました。

8年生は、いろいろな高校を調べました。高校出前授業は、予定を変更して、2学期に行います。

8月の主な行事

- 6日(火) 出校日(平和学習)
- 12日(火)~15日(金) 学校閉庁日
- 26日(火)~28日(木) 学習登校日

9月の主な行事

- 1日(月) 始業式
- 2日(火) 課題テスト 給食開始
- 5日(金) 防災教育(8年)
- 22日(月)~26日(金) 小中合同週間(ジョイント・ウィーク)
- 25日(木) 避難訓練(災害・地震)

飯塚市立小中一貫校飯塚
鎮西校の生徒が30日、市内
の会社を訪問し、それぞ
れの職場が抱える課題を聞き
取った。企業活動について
考えを深め、社会とのかか
わり方を学ぶのが目的で、
課題解決のアイデアを出し
合い、9月に発表する予定。

飯塚の小中一貫校9年生

企業訪問 課題聞き取り



バイオトイレについて説明を受ける生徒たち

った作業の様子を見学。微
生物を利用して悪臭を抑え
る同社の「バイオトイレ」
についても説明を受けた。
吉田和彦会長は「労働人
口が減る中、若い世代にと
って働きがいのある会社に
するにはどうしたらいいか
を皆さんに考えてもらいた
い」などと語りかけた。
山中彩乃さん(14)は「暮
らしを便利にしてくれるも
のが、細かい作業でつくら
れていくことに感動した。
課題についてはクラス全体
で考えたい」と話した。9
月の「最終報告会」には企
業の担当者も招くという。



読賣新聞7月1日(火)筑豊版

